

あなたは、
本当の自分を
生きていますか。

リボーン
Reborn
本来の自分によみがえる

私たちは生涯を通じて生老病死を体験します。病気は「身体や心に不都合や不調を生じた状態」といえますが、それは単に偶然起こった「不快」「不調」なのでしょうか？
クリスティン・ペイジ医師は「多くの病気や症状は、すべてよくなるようとする内なる意思の表れ」だといいます。その内なる声を聴き、生き方を転換していくことを、船戸医師は「Reborn (リボーン)」と呼びます。これは従来の健康観、病気観を越えた、これからの生き方に大きな変革をもたらす考え方です。シンポジウムでは、3人の医師と余命宣告を乗り越えた体験者が、その「変容の鍵」を語ります。



帯津 良一 11:00～

帯津三敬病院名誉院長

ナイス・エイジング
に如くは無し



船戸 崇史 13:00～

船戸クリニック院長

がんの言い分



クリスティン・ペイジ 13:50～

医師 / 『チャクラ—癒しへの道』著者

患者さんの本質を
治療するという事



杉浦 貴之 15:10～

『メッセンジャー』編集長

命はそんなにやわじゃない
がん余命半年から20年を迎えて

パネルディスカッション 16:10～17:00 (パネル進行: 降矢英成)

●10:10より会員総会を行います。(一般開場 10:40) ●来場者全員に抄録集を差し上げます。

2019年
11/10 (日)

11:00～17:00

(受付 10:20～)

全電通労働会館

東京都千代田区神田駿河台 3-6

TEL.03-3219-2211 (定員 400名/全席自由席)

●生活習慣病予防指導士3単位/ホリスティックピープル・レベルアップ講座

●詳しくは裏面をご覧ください。

前売り

会員 4,000円 一般 5,500円 (税込)

前売り期限: 10/23 (水) まで

※後援団体 (JAMHA) 所属も会員価格となります。

WEB 受付

<http://www.holistic-medicine.or.jp/2019>

主催: NPO法人 日本ホリスティック医学協会

お問合せ: 本部事務局 TEL. 03-3341-3418 (月～金)

後援: NPO法人 日本メディカルハーブ協会

協賛: FSX 株式会社 / GREEN GRASS (タオアシス)



申込みサイト

ホリスティック医学シンポジウム 2019

11月10日(日) 東京(全電通労働会館)

「Reborn～本来の自分によみがえる」

ホリスティック医学の定義



1. ホリスティック(全的)な健康観に立脚する
2. 自然治癒力を癒しの原点におく
3. 患者が自ら癒し、治療者は援助する
4. 様々な治療法を選択・統合し、最も適切な治療を行う
5. 病の深い意味に気づき自己実現をめざす

講演内容・出演者プロフィール

1 ナイス・エイジングに如くは無し 11:00～12:00

すべての病は「老化」という大河の中にある。がんも例外ではない。楽しく、小気味よく抵抗しながら一日でも長く良質の生を手にすることだ。要はアンチ・エイジングではなく、ナイス・エイジングなのだ。



帯津 良一 おびつりょういち

帯津三敬病院名誉院長。医学博士。東京大学医学部卒業。東大病院第三外科医局長、都立駒込病院外科医長を経て、82年埼玉県川越市にて開業。西洋医学に中国医学、気功、代替療法などを取り入れ、人間をまるごととらえるホリスティック医療を実践している。日本ホリスティック医学協会名誉会長。著書『ホリスティック医学入門』(角川書店) 共著『生死問答』(平凡社) 他、これまで出した本の数は100冊を超える。

2 がんの言い分 13:00～13:50

死因の1位であり怖い病気の代表が「がん」でしょう。だから、だれもががんに恐れ、避けようとしします。しかし、がんは生き活きと訴えています。「今のままでは時間が無いよ。今の生き方を転換して、本来の自分を蘇らせなさい」。がんに克つためには西洋医学の3大療法は有意義ですが、それだけでは不十分。がん出現の理由、がんの言い分を如何にしっかり聴けるかにかかっています。聴けば聴くほど、がんから離れ本来の自分が蘇るのです。(Reborn)



船戸 崇史 ふなと たかし (シンポジウム実行委員長)

船戸クリニック院長。愛知医科大学医学部卒業後、岐阜大学第1外科入局。ブラックジャックに憧れて消化器外科を専攻。その後、がんと出会い、がんと共に生きる生き様、死に様に関心を持つ。「最期は家で」というささやかな願いを実現するために1994年開業。5年前に統合医療センターを開設。2018年岐阜県にがん予防滞在型リトリート「リボーン洞戸」開業。岐阜養老郡医師会会長。日本ホリスティック医学協会理事。著書『奇跡の医療(上/下)』(よろず医療会ラダック基金)他。

3 患者さんの本質を治療するということ 13:50～14:50

私たち医療従事者は、どうすれば聖域を作って真の変容の癒しを起る場を提供することができるでしょうか? 誠実な心と私たち自身の内なる癒しにフォーカスしようとする気持があれば、私たちは過去の経験や学術的知識や直感や慈愛の叡智を適用して常識的な信念から抜け出し、多次元レベルの自己として患者さんやクライアントさんを見ることが出来ます。



クリスティン・ペイジ

医師、ホメオパシー療法医。アメリカカリフォルニア州在住。イギリス生まれ。現代の医学と直感を融合させるホリスティック医学の提唱者として活動。医学の知識、そして自身の経験を軸に、サイキック能力を融合させたリーディングも定評がある。著書『チャクラ～癒しへの道』(サンマーク出版)は世界で100万部を超えるベストセラーになった。最近では女性に特化したセミナー・イベントに注力している。

4 命はそんなにやわじゃない 15:10～16:00

腎臓の希少がん、余命「早くて半年。2年後の生存率0%」から20年経過しました。今は、病気になる前より、元気で幸せになりました。ここまでの20年間で、たくさんのお会いから教えていただいた、自然治癒力を高める心の持ち方、習慣などをお伝えします。



杉浦 貴之 すぎうら たかゆき

1971年愛知県生まれ。1999年28歳にしてがん宣告。左腎摘出手術後、化学療法2クール。「早くて半年、2年後の生存率0%」宣告。2005年、がん克服者や命と向き合っている人の思いを載せた命のマガジン『メッセンジャー』を創刊。病床で描き続けた夢を叶えたことで見違えるほど元気になり、トーク&ライブでオリジナルソングを歌いながら、人間の無限の可能性を伝えるようになる。「奇跡体験!アンビリバボー」など出演。著書『命はそんなにやわじゃない』(かんき出版)。

5 パネルディスカッション

船戸崇史 × クリスティン・ペイジ × 杉浦貴之

パネルディスカッション進行: 降矢英成 (日本ホリスティック医学協会会長)

●シンポジウム総合司会: 久保田 泉 (日本ホリスティック医学協会理事)

前売り期限
10/23(水)

会員 4,000円 ・ 一般 5,500円 (税込)

会員 = 日本ホリスティック医学協会、後援団体 (日本メディカルハーブ協会)

※ 期限以降は、定員に空きがある場合に限り、随時お受け致します。

※ 当日券 1,000円増し。(空きがある場合のみ 会場で販売)

お申込み方法

WEB フォームまたはFAXでお申込みのうえ、参加費を下記の口座にお振り込み下さい。



申込みサイト

WEB <http://www.holistic-medicine.or.jp/2019>

FAX 03-3341-3416 (氏名、住所、TEL、会員 or 一般 を記入)

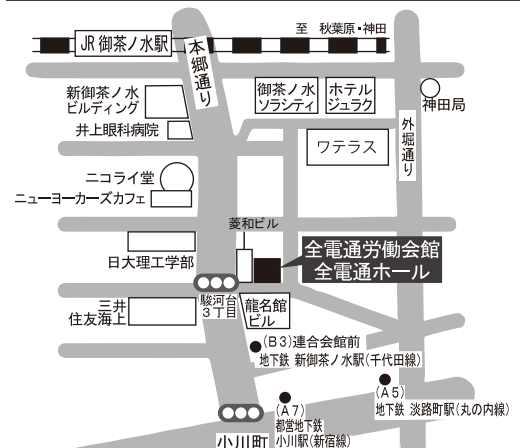
- 入金をもって正式な申込みとさせていただきます。(入場パスを郵送致します)
- 先着順(入金順)で定員になり次第、締め切りとなります。入金順で満席となりましたら、仮予約はキャンセルとなりますので、お早めにご入金をお願いします。

- ① 郵便局から
 - 口座番号 00110-2-702917
 - 口座名義: (特非) 日本ホリスティック医学協会
 - ※ 通信欄に「11/10 参加」と記入
- ② 他の金融機関から
 - ゆうちょ銀行 019店(ゼロイチキュー店) 当座 0702917
 - 口座名義: トクヒ ニホンホリスティックイガクキョウカイ
 - ※ 氏名の前に「11/10」と入力

- ご入金後のキャンセルによる返金は致しかねますので予めご承知下さい。
- タイムスケジュールは事情により一部変更になる場合もありますのでご了承下さい。

問合せ先: TEL 03-3341-3418 (月～金 10:00～18:00)
NPO 法人日本ホリスティック医学協会 本部事務局

MAP 全電通労働会館 (TEL. 03-3219-2211)
東京都千代田区神田駿河台 3-6



- JR 御茶ノ水駅 (聖橋口出口徒歩 5分)
- 千代田線・新御茶ノ水駅 (B3 出口徒歩 3分)
- 丸ノ内線・淡路町駅 (A5 出口徒歩 5分)